

山協ニュース

岩手県山岳協会
第180号
平成25年7月日発行
long-distance.jp/sangaku/

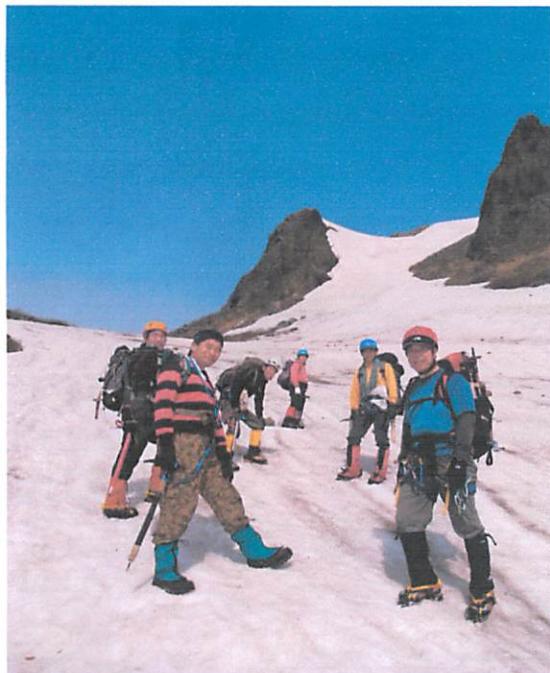
残雪期講習会兼指導員研修会

秋田駒ヶ岳で開催

県山協にとって大事な事業として恒例となっている今年の残雪期講習会兼指導員研修会が、天候にも恵まれ指導員10名、一般山岳会5名、高校生6名計21名の参加者のもと秋田駒ヶ岳で開催されました。今回は指導員の参加と合わせ、黒沢尻工業高校山岳部の参加もあり、活気に満ちた講習会となりました。

5月25日(土)

午後5時、国見温泉森山荘に集合、開講式では西館副会長から氷雪技術の基礎をしっかりと習得して欲しいとの挨拶、その後氷雪技術についてのインドア講習、先般日山協氷雪技術講習会に参加してきた土井指導部副本部長からスタンディングアッカスピレーについて伝達講習を受ける。そのあとは恒例の交流会で盛り上がる。



5月26日(日)

高校生組と一般組に分かれて実地講習を行う。高校生組は土井指導員が講師となり、5時に国見温泉出発、途中読図により現在地確認をしながら登る。横尾根から小岳を通り雄岳と横岳の鞍部に向う雪渓をキックステップで直登。上部の傾斜のき

つい部分はロープを張り確保しながら登る。鞍部から阿弥陀池を通り男女岳山頂に8時、鞍部に戻り雄岳に8時30分到着。その後五百羅漢の上部で雪上訓練をしていた一般組と合流した後、更にその場でキックステップ等の雪上訓練を行い国見温泉に11時到着。

一般組は、5時20分国見温泉を出発。7時30分五百羅漢上部の雪渓で雪上訓練を実施。指導員検定受検の鎌田、長畠を中心にスタンディングアッカスピレーの訓練を厳しく行う。途中、雄岳から下りてきた高校生組のサポートを行う。実践を兼ねた急斜面を一人ずつ安全な場所まで降ろす。その後、雄岳に9時50分、阿弥陀池を経由して横尾根11時20分。国見温泉に12時に到着。閉校式を行い解散した。(報告 土井)

今回の講習会は、開催時期が5月後半になりましたが、寒さが続いたせいもあり例年以上の残雪の中での開催となりました。高校生が久しぶりに参加。貴重な体験となったと思います。来年はもっと多くの学校の参加をお願いします。また、山岳指導員取得受検者もあり今後の合格に向けて更に研鑽を期待します。

文部科学省山岳指導員

全国で17名、うち岩手が4名認定される。

今年のアルペン指導員として、渡辺良平(翌檜)、寺内宏普(高体連)、久保賢治(高体連)、千葉真英(高体連)が認定されました。おめでとう。

今後、安全登山の啓蒙と登山技術の普及に活躍が期待されます。

平成25年度高校総体登山競技開催

女子 盛岡一高初優勝・男子岩手高校3年ぶりに優勝旗を手にする!

今年で第65回(登山競技は54回)を数える平成25年度岩手県高等学校総合体育大会登山競技は、県高体連登山専門部(部長 大迫高校高橋 正校

長・委員長盛岡工業高校小野寺 諭先生)主管で5月31日(金)から6月2日(日)八幡平市の松川温泉キャンプ場を基地として裏岩手連峰を会場に開催されました。今年の大会には、男子17校、女子3高校が出場。大会期間中は天候にも恵まれ、例年以上に多い残雪とアップダウンの激しいコースで競技が展開されました。

初日は、松川キャンプ場で開会式を開催、高橋正部長の挨拶、高橋時夫県山岳協会会長の祝辞、八幡平市教育委員会高橋一夫教育次長の歓迎の言葉、榎本拓審判長の注意事項等のあと競技に入った。

好天のなか、三ツ石山荘往復の全装備行動で体力審査が行われた。二日目の6月1日は、午前5時競技開始。丸森川付近からは、残雪と新緑の中での行動、源太ヶ岳の雪渓の急登も全チーム安定したステップで高度を上げる。大深岳、小畚山、三ツ石山、三ツ石山荘経由で松川温泉へ12時30分には全パーティ、元気に到着。途中、読図等の一確認、到着後は装備点検、幕営技術等の審査が行われました。

第3日目は、閉会式で成績発表と表彰式が行われた。結果は、次のとおり。

男子団体 第1位 岩手高校 97.3 (松村大地、遠藤涼、近藤拓実、佐藤真也)

第2位 盛岡第一 96.7、第3位 盛岡工業 95.1、第4位 黒沢尻工業 85.9

第5位 宮古高校 83.0、第6位 盛岡農業 80.1

女子団体 第1位 盛岡第一 98.4 (小船瑠子、中村朱、新里亜子、浅田真結子)

第2位 盛岡南 89.0、第3位 盛岡農業 80.6

高校総体登山競技は、4人のチームワークのもと体力、計画書、天気図、幕営技術、観察、読図、歩行技術、救急対応等体力、知力、気力のまさに安全登山そのものを総合的に競う競技です。

優勝した岩手高校、盛岡第一は、8月、大分県九重山群で開催されるインターハイに本県代表として出場します。皆さんの応援をお願いします。

平成25年度

スポーツクライミング養成講習会開催

日山協主催の平成25年度スポーツクライミング指導者養成講習会が、8月17日・18日と24日・25日宮城県仙台市で開催されます。受講希望者は、指導部まで。

平成25年度山岳自然保護の集い

(中央大会)が埼玉県で開催予定

平成25年9月14日～16日に埼玉県比企郡小川町の県立小川げんきプラザを会場に、山岳自然保護の集いが開催されます。

参加希望の方は、植田登山普及部長まで照会して下さい。

平成25年度(公社)日本山岳協会定時総会報告

公益社団法人移行後初めてとなる日本山岳協会定時総会が、5月26日(日)東京都岸記念体育館で開催されました。当協会からは、高橋時夫会長が出席しました。冒頭神崎会長は、挨拶で①公益社団法人として果す役割の重要性、②国民に親しまれるような活動の展開と50%以上の公益事業の実施、③理事定数の削減、④最も重要なのは各岳連(協会)の活性化、日本山岳会、日本勤労者山岳会と一緒に活動して行きたい。⑤登山者登録制度の検討等の課題解決に向けて山岳登山活動でのリーダーシップを取れる日山協を目指していきたいと挨拶。

議事では、平成24年度事業報告、収支決算については原案の通り承認されました。

役員の選任では、学識経験者理事12名、各ブロック推薦理事8名、正会員推薦3名の25名を選出。なお、高橋時夫会長が東北ブロック推薦理事として選出されました。その後の理事会で日山協会長に神崎忠男氏が互選されました。任期は、2年。

事業報告では、ジュニア登山教室の補助申請団体が17県にとどまり予算が余ったこと。(本県は実施済)

報告事項では、国体山岳競技開催基準要項・細則が平成25年5月11日付けて改正されたこと。

平成25年度登攀技術研修会(A級主任検定員・上級指導員養成講習会)が、岩手県営運動公園で10月12日(土)～13日(日)開催予定

平成25年度東北六県山岳連盟(協会)

連絡協議会報告

平成25年度東北六県山岳連盟(協会)連絡協議会が、青森県が幹事県となって八戸市内で開催され、東北六県の会長等17名が出席しました。当協会からは、

高橋会長、遠藤事務局長、植田登山普及部長、中村常任理事が出席しました。

会議では次のことが協議されました。

- ・審判員研修への受講希望者が少ない。(東北では、審判員が育っていない。)
- ・福島県岳連で県内の山の放射線量調査を行ったが、登山活動に影響が出るものではなかった。
- ・岳連(協会)の個人会員制度の導入(個人登録制度 青森(1名)、秋田54名、山形)そのほかの県は制度なし。今後、スポーツクライミングの普及により選手登録制度との兼ね合いもあり検討が必要。
- ・各県の日本山岳会各支部や勤労者山岳会等との連携等について意見交換
- ・平成25年度東北総体山岳競技
7月26日(金)～28(日)
リード競技 山形県飯豊町市民スポーツセンター
ボルダリング競技 山形市フリークライミングジム デッドポイント

第65回岩手県民体育大会山岳競技

第6回岩手県山岳競技国体選手選考会開催

第65回岩手県民体育大会山岳競技(成年男子・女子)は、第6回岩手県山岳競技国体選手選考会(少年男子・女子)も兼ねて去る6月29日(土)と30日(日)の二日間、盛岡市の県営運動公園登攀会場で開催されました。大会には、成年男子11チーム、成年女子2チーム、少年男子36チーム、少年女子12チームが出場、セッターはワールトカップ現役の新田龍海さんが担当。

開会式には、谷藤盛岡市スポーツ推進課長、出堀、中谷、四戸各名誉会員、角掛、國本、小泉各顧問、久世、村上、岩澤各評議員の出席を頂き選手を激励して頂きました。

大会は、国体等を想定した難しいコースに設定。リードは、全種別で完登は、成年女子の畠山千怜選手ただ一人。参加選手に混じって岩手国体強化選手の中学生や小学生も出場。畠山選手強化部長を中心とするスタッフの指導のもと着実に地力発揮。ハイレベルなパフォーマンスを見せてくれました。しかし、目標は全国。これから更に精進して欲しいと思います。

競技結果は、つぎのとおりです。

○リード競技(6月29日)

・成年男子

- 第1位 北上山岳会A
- 第2位 大迫山岳会A
- 第3位 翌檜山岳会E
- ・成年女子
- 第1位 大迫山岳会
- 第2位 翌檜山岳会
- ・少年男子
- 第1位 岩手高校A
- 第2位 黒沢尻工業高校A
- 第3位 岩手高校B
- ・少年女子
- 第1位 盛岡第一高校A
- 第2位 盛岡第一高校B
- 第3位 盛岡南高校D

○ボルダリング競技(6月30日)

- ・成年男子
- 第1位 北上山岳会A
- 第2位 大迫山岳会B
- 第3位 大迫山岳会A
- ・成年女子
- 第1位 大迫山岳会
- 第2位 翌檜山岳会
- ・少年男子
- 第1位 盛岡農業高校A
- 第2位 黒沢尻工業高校A
- 第3位 岩手高校A
- ・少年女子
- 第1位 盛岡第一高校A
- 第2位 盛岡南高校D
- 第3位 盛岡第一高校B

なお、既に開催済みの国体予選会のボルダリング選手権大会もリード選手権大会の成績と今回の結果のもとに、国体選手及び東北総合体育大会出場選手を次のように決定しました。東北総体は、7月27日(土)と28日(日)山形県で開催されます。

種別	選 手		監督
成年 男子	藤原祐樹 (大迫)	室塚 彰 (大迫)	
成年 女子	畠山千怜 (大迫)	立花里美 (大迫)	畠山 晃 (北上)
少年 男子	百鳥武人 (黒工高)	山内 韶 ()	伊藤 圭 (岩手CC)
少年 女子	山瀬奈々子 (盛岡三高)	中村 朱 (盛岡一高)	清藤祐貴雄 (盛岡一高)

※ 成年男子は、国体選手、あとは東北総体選手

今年も岩手山ボッカ大将 盛大に開催

総重量一トンを荷上げする。

恒例の私達岩手県山岳協会の意気を示す、岩手山ボッカ大将が今年も6月8日(土)9団体、51名の協力で開催。改めて、加盟団体、参加頂いた皆さんに感謝申し上げます。当日は、気温もさほどあがらず、絶好のコンディションだったのでないかと思います。



予定した荷上げ品もほぼ予定通り上げることが出来ました、感謝、感謝です。夕刻より高橋県山岳協会長の挨拶のあと西館副会長の音頭で乾杯。女性軍の美味しい手料理で加盟団体の交流会が行われました。今年も、小山理事長は2往復の参加。参加者は翌10日、朝食後小屋掃除、トイレ清掃等を手伝って頂き三々五々解散となりました。なお、当日荷上げ後、都合で下山した岳人もおり改めて御礼申し上げます。



岩手山ボッカ大将成績

男子

- 第1位 鈴木 清 52, 30kg 巌鷲山岳会
(昨年1位 49, 0kg)
第2位 鬼川 博昭 46, 80kg 高体連
(昨年2位 45, 0kg)

第3位 斎藤 正人 40, 30kg 巌鷲山岳会

(昨年4位 35, 4kg)

特別賞 小山 勝峰(2回) 53, 48kg 翌檜山岳会
(昨年9位 52, 2kg)

女子

- 第1位 田邊 真弓 22, 60kg アルペンローズ
(昨年4位 12, 7kg)
第2位 橘 澄江 18, 34kg 矢巾山好会
(昨年3位 13, 6kg)
第3位 佐藤 由子 15, 78kg 福岡山好会
(昨年5位 12, 0kg)

今年度の荷上げ品の総重量(個人装備含)は1022, 29kg(昨年は1102, 7kg)でした。一人平均20. 04Kg(昨年20. 04kg)

参加協力加盟団体 (普及部は所属団体に含む)

巖鷲山岳会	14名	盛岡RCC	10名
矢巾山好会	9名	アルペンローズ	9名
翌檜山岳会	3名	滝沢山岳協会	2名
福岡山岳会	2名	都南山岳会	1名
高体連	1名		

総参加人員 51名(昨年55名) 男35名 女16名(昨年男39名 女16名)の岳人にご協力をいただきました。

男 835, 66kg 平均23. 88kg (昨年908. 2kg 平均23, 29kg)

女 186, 63kg 平均11. 66kg (昨年194. 5kg 平均12, 16kg)

あらためて山岳協会加盟各団体の結束力に感謝し、お礼を申し上げます。

「日本の名峰登山2013」甲武信岳・天城山

登山普及部事業「日本の名峰登山2013」甲武信岳・天城山については、参加者32名全員登頂し、26日夜盛岡に無事帰りました。連日好天に恵まれ思い出に残る楽しい山行となりました。



詳細は、別紙報告書をご覧下さい。

集まれ 岩手山ジュニア登

山教室参加者募集中

今年も、小学生を対象とするジュニア登山教室 in 岩手山 2013 が開催されます。

この事業は、登山を通じてスポーツとしての登山と人と自然のかかわりの素晴らしさを体験して頂く事業として、日山協の補助事業として毎年開催しています。今年は、次の日程で開催します。加盟団体会員の皆さん、知り合いの方等夏休みの思い出に親子やお孫さんを連れて参加してみませんか。

1 期日	平成 25 年 8 月 2 日(金)・ 3 日(土) 一泊二日
2 内容	岩手山登山及び 山小屋宿泊体験
3 参加者	小学生とその保護 15 組
4 参加費用	小学生 1,000 円 大人 3,000 円
5 集合場所	岩手山馬返し登山口
6 参加申込み	7 月 18 日(木)までに、フ ッタクスで申し込むこと。
7 問合せ及び申込み先	岩手県山岳協会登山普及部登山担 長畠あて 川口印刷工業株式会社内 電話 019 632 2218 ダイヤルイン 293 FAX 019 632 2216

韓国の名峰 智異山 登山

- 1 日 程 平成 25 年 10 月 30 日(水)～11 月 4 日(月)
- 2 募集人員 20 名(最小催行人員 15 名)
- 3 参加費 165,000 円 盛岡から添乗員同行
- 4 申込期限 8 月 25 日(日)定員になり次第締切
- 5 担 当 登山普及部 山口 090-1933-2445

2016 希望郷いわて国体山岳情報

No ①

広げよう 感動。伝えよう感謝を合言葉に開催される「2016 希望郷いわて国体」の準備が本格

化してきました。山協ニュースでも国体情報枠をとって情報の提供に努めます。

県山岳協会第1回国体準備会開催

7 月の国体正式決定を前に協会でも、6 月 5 日(木)会長、理事長、事務局長、関係部長をメンバーとする第 1 回国体準備会を盛岡市で開催し、下記の方針を確認しました。

今回は、今後の具体的な対応方針について協議しました。今後、県、市の動きと併せて、日山協の動きを受け、引続き理事会、評議員会での検討を行い、加盟団体、関係組織への協力要請を行っていきます。

施設整備

○現在設計段階にあるリード競技施設については、作業の進捗にあわせて県、設計業者等との調整を行っていくこととなっています。また、ボルダリング施設は仮設で、隣接の運動公園南側駐車場を予定しています。(窓口 吉田副会長、小山理事長、畠山副理事長)

運営体制

○審判員、運営委員とも日山協認定の資格者が当たることになります。予定では県内審判員は、11 名、運営委員は 100 名前後の皆さんの協力が必要となります。特に運営委員については、加盟団体の皆さんにお願いすることになります。今後、日山協主催の認定講習会を開催する予定です。

○運営対応のため、今年開催の東京国体での視察研修を予定しています。加盟団体、指導員会の皆さんの協力をお願いします。

国体開運財源対策

○ 国体を控え、今後選手強化を最重点に進めながら、運営対応の財源も必要となることから、指導員会等への財政支援、参与会等の協力を頂き募金活動の展開、協会事業での捻出、積立金の有効活用などを視野に入れて具体的な行動をおこします。

○ 国体前年は、東北総合体育大会がリハーサル大会として開催されます。この運営経費についても一定の準備が必要とされます。

関係機関団体との連携

- 施設面では、岩手県、開催市である盛岡市の国体事務局との密接な連携を図ることとします。

盛岡市準備委員会

いよいよ今月には日本体育協会理事会で平成28年の岩手国体が正式決定し、これまでの県、市町村の準備委員会も実行委員会へと組織体制が

国体準備総括（全体）副会長 吉田春彦
国体準備統括（運営）理事長 小山勝稔
国体統括（強化） 副理事長 畠山 晃

強化され本格的な取組が進められます。

去る5月21日盛岡市のサンセール盛岡で、山岳競技開催地である盛岡市の第2回準備委員会が開催され、高橋協会会长が委員として、吉田春彦副会長が盛岡市山岳協会委員として出席しました。会議では、平成25年度事業計画が審議決定しました。総務企画関係では、カウントダウンイベント、広告塔の設置、ホームページ開設、花いっぱい運動、競技関係では、リハーサル大会の開催、協議役員等編成案の策定、宿泊衛生関係、輸送交通関係等今後具体的な計画を定めていくこと我確認されました。

協会関係では、山岳競技の県民への紹介、開催等地元の盛り上がりへの対応、東京国体、長崎国体等の先進地調査の実施、競技団体との連絡調整が急務となります。

競技施設整備の動き

国体の競技施設のひとつであるリード競技施設は、現在岩手県の事業として実施設計が進められています。予定では年度内完成が見込まれます。可変式構造でワールドカップ等の国際大会の開催も可能となります。一日も早い完成が待たれます。またボルダリング競技施設は、運動公園南側駐車場への仮設が予定されています。・

選手強化対策

これまで理事長、選手強化部長等が中心となって選手強化指定選手やジュニア養成選手等を中心に各県の県民体育大会への参加、6月は東京国体リハーサル大会への参加等実践的な大会経験を重点的にこなして選手強化を図っています。今後、選手強化は更に各種大会への遠征回数を増やすなど国体対策の最重要項目として取組んでいきます。資金面等について、支援を協会役員（名誉会員、顧問、参与、評議員、理事）にお願いします。

競技役員の要請

審判員、運営委員等国体山岳競技役員については、県内役員だけでも約100名前後をお願いしなければなりません。県内加盟団体の皆さんとの協力で運営することになります。特に審判員、運営委員については資格要件が伴いますので、来年度講習会等の開催により養成していく方針です。

ご協力をお願いします。

平成25年度第3回常任理事会 25/5/15

- ◆ 事務局
 - ・岩手県体育協会賛助会員の募集について
- ◆ 事業部
 - ・6/23 第6回クライミング選手権兼国体予選会
 - ・6/29-30 県民体・国体予選会実施細目
 - ・7/20 加盟団体交流会について
- ◆ 指導部
 - ・4/29 クライミング認定会・無料体験会について
 - ・6/29-30 県民体・国体予選会実施要領
 - ・東北総体審判について
- ◆ 登山普及部
 - ・日本の名峰登山2013について
 - ・岩手山八合目避難小屋夏小屋について
 - ・ボッカ大将について
 - ・岩手山八合目避難小屋管理当番の一部変更
- ◆ 選手強化部
 - ・6/23 第6回リード選手権兼国体予選会について
- ◆ 国体推進部
 - ・ 71 岩手国体山岳競技役員組織図について

平成25年度第4回常任理事会 25/6/12

- ◆ 事務局
 - ・岩手県教育表彰受賞者の推薦について
- ◆ 事業部
 - ・6/29-30 県民体・国体予選会について
 - ・7/20 加盟団体交流会について
 - ・7/21 2013トレインランニング大会要項
- ◆ 指導部
 - ・5/25-26 残雪期講習会（報告）
 - ・日山協指導員会総会兼研修会（報告）
- ◆ 登山普及部
 - ・5/23-26 日本の名峰登山（報告）

・6/8 ボッカ大将(報告)	7/14(日)	ボルダートレーニングセッション
・8/2-3 ジュニア in 岩手山 2013 について	7/20(土)	加盟団体交流会
・10/30-11/4 韓国の名峰 智異山登山について	7/21(日)	2013 鞍掛山トレイルランニング大会
◆ 国体推進部	7/26(金)-28(日)	東北総合体育大会
・71 国体役員編成について	8/2(金)-3(土)	ジュニア登山教室 in 岩手山 2013
・国体開催競技施設について	8/2(金)-6(火)	全国高等学校登山大会
・先催県視察について	8/4(日)	沢登講習・研修会
◆ 高体連	8/25(日)	韓国の名峰智異山登山 締切日
・第 54 回高総体登山競技について	8/28(水)	第 5 回常任理事会

経過報告

4/29(月)	クライミング認定会①
5/15(水)	第 3 回常任理事会
5/17(金)-19(日)	高体連登山基礎講習会(前期)
5/18(土)-19(日)	東北六県山岳連盟(協会)協議会
5/21(火)	第71回国体盛岡市準備委員 第2回 総会
5/21(火)	平成 25 年度八幡平国立公園協会 定時総会
5/23(木)-26(日)	日本の名峰登山 2013
5/25(土)-26(日)	残雪期講習会・研修会
5/26(日)	日山協平成 25 年度定時総会
5/26(日)	大迫体育館クライミング体験会
5/27(月)	競技団体事務局長会議
5/31(金)-6/2(木)	第 54 回高総体登山競技
6/5(水)	国体運営準備会議
6/8(土)-6/9(日)	日山協指導員総会兼研修会
6/8(土)-6/9(日)	ボッカ大将
6/12(水)	第 4 回常任理事会
6/16(日)	残雪の裏岩手連峰開山祭
6/22(土)-23(日)	日山協国際委員総会
6/23(日)	第 6 回リード選手権兼国体予選会
6/29(土)	岩手山八合目避難小屋常駐管理開始
6/29(土)-6/30(日)	県民体兼国体選手選考会
6/29(土)-6/30(日)	平成 25 年度遭難対策委総会・研修会
7/1(月)	岩手山山開き
7/3(水)	第 4 回部長会

今後の予定

7/6・10・15	夏休み親子クライミング・ボルダリング教室
7/12(金)-7/13(土)	高体連登山専門部顧問研修会

岩手山山開き

